

承認番号	4203
研究課題名	弓部大動脈瘤および急性大動脈解離に対するJ Graft FROZENIXを用いたTotalExclusion of Non-Stent part of FROZENIX with Everting interpolationanastomosis (TENSE) techniqueによる上行弓部置換術の成績
研究の意義・目的	<p>弓部大動脈瘤、急性大動脈解離に対してJ Graft FROZENIX(Open stent graft)を用いたFrozen elephant trunk法による上行弓部置換術が行われるようになり良好な成績が報告されている。しかしながら、Open stent graftの屈曲・狭窄や末梢吻合の困難さが問題となっている。Open stent graftの屈曲はnon-stent partとstentpartの間で起こっており、またnon-stent partが残ってしまうことで襞状になりgraftの良好な展開が得られないため吻合に難渋する。そこで屈曲の予防及び末梢吻合を容易にする方法としてnon-stent partを完全に除去したTotal Exclusion ofNon-Stent part of J Graft FROZENIX with Everting interpolation anastomosis(TENSE) techniqueによる上行弓部置換術を行っており、その成績を評価し、今後の手術成績の向上に貢献することを目的とする。</p> <p>本研究では、あなたにとって最も適切な医療を提供した結果としての診療情報又は試料の収集により得られた情報を利用する研究です。</p>
研究期間	承認後～2020年12月31日
研究対象者の範囲	当院において2017年4月1日から2019年3月31日の間で、急性A型大動脈解離あるいは弓部大動脈瘤に対してFROZENIXを用い、TENSE techniqueにより上行弓部置換術を施行した患者を対象とする。データはカルテより取得する。
利用又は提供する試料・情報の項目	術前、周術期の血液、検査データ、診療記録等
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	大阪公立大学医学部附属病院 心臓血管外科 教授 柴田 利彦
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocum-surgery/index.html
研究成果を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表する
試料・情報の提供方法	提供しない
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪公立大学大学院医学研究科 心臓血管外科学 教授 柴田 利彦
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	受付方法：大阪公立大学附属病院心臓血管外科外来(Tel:06-6645-2121)、 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科 担当者：森崎晃正(Tel:06-6645-3980)。